

第60回象堂賞と金賞作品の紹介

表彰式は11月30日全校朝会です。

象堂賞とは、重要無形文化財蠟型鑄造技術保持者であり、当校の卒業生でもある佐々木象堂氏のご婦人からの寄付を基金として、昭和37年から始まった美術教育の振興を願う賞です。去る10月21日(木)に近松寿弥様、池田脩二様から全校児童の作品を審査していただきました。以下、第60回象堂賞並びに金賞作品と審査員のコメントを紹介します。



象堂賞

6年 近江 弘妃 さん

「中庭で遊ぶとき、必ず乗ったブランコ」

近くの大きなブランコ、そして、校舎の窓に映る奥行き、遠くの夕暮れが遠近感を感じます。特に窓一つ一つの明暗で校舎の奥行きを表しています。全体に緻密な表現力をもっています。



金賞 1年 後藤 風太 さん
「あさがおがいっぱい」

朝顔がいっぱいきれいに咲いたときの楽しさやうれしさが伝わってくる夢のある絵です。



金賞 2年 高野 莉緒 さん
「ザリガニをもっているよ」

ザリガニを捕まえた。驚きの表情がよく表れています。体の動きや表情の変化もしっかりと捉えています。



金賞 3年 小崎 絵未 さん
「みんなでたたいたたいこたいけん」

みんなが楽しそうに、そして一生懸命太鼓をたたいている様子がよく描けています。太鼓の音が聞こえてきそうな迫力のある絵になっています。



金賞 4年 渡部 心愛 さん
「佐渡の迫力がある鬼」

画面いっぱいに正面から堂々と描き上げています。髪の毛や衣服の細かいところまで注意深く表現しています。しっかりとした力強い描き方です。



金賞 5年 萩田 采那 さん
「自分はいかさきの才能がある」

いかにも自信ありそうなさばき方の様子がよく描かれています。周りの友達も楽しそうにいろいろな作業をしています。楽しい野外キャンプの様子が伝わってきます。

<銀賞入賞者一覧>

- | | |
|------------|---------|
| 1年 池田千花さん | 本田理桜さん |
| 2年 池 悠成さん | 加藤弘雅さん |
| 3年 北見真白さん | 羽豆凜香さん |
| 4年 佐藤ほのかさん | 米津結衣さん |
| 5年 近江 滯さん | 大地なずなさん |
| 6年 末武怜奈さん | 須田志織さん |

児童絵画作品展に、たくさんの保護者、地域の皆様からご来校いただき、ありがとうございました。



12月～1月 主な行事予定

12月1日(水) 大人あいさつボランティア
9日(木)～13日(月) 個人懇談
24日(金) 2学期終業式 給食最終日

1月 7日(金) 3学期始業式
11日(火) 給食開始 校内書き初め大会
28日(金) 学習参観日・学級懇談会